



Best Challenge

校長 霜田 恵子

10月21日、東市ヶ尾小学校の第43回運動会が開催されました。

コロナ禍が明け、久々に保護者の皆様には入れ替えなしで人数制限なく参観にお越しいただき、日頃お世話になっている来賓の皆様をお呼びすることもできた運動会でした。子どもたちのきらきらした笑顔と一生懸命な姿を多くの方々にご覧いただくことができ、とてもうれしく思います。

運動会の練習を始める前に「運動会が好きな人も嫌いな人も、運動が得意な人も苦手な人もいるけれど、そして得意でも努力するのが苦手な人も、苦手でも努力する才能のある人もいるけれど、一人ひとりがめあてをもって、成長できる運動会にしよう」と子どもたちに投げかけました。

今回の運動会テーマは「Best Challenge」。この運動会という行事をつくりあげるために子どもたちは、本当によく頑張りました。間違いなく、一人ひとりが成長できた運動会となったと思います。

運動会本番を迎えるまでの過程で、東市ヶ尾小学校の子どもたちのポテンシャルの高さに感心しました。教師の助言を理解してすぐに表現してみせる子どもたち。集中力と吸収力のすばらしさ。教師がとった動画から振り返り、自分たちの課題を見つけて修正し向上していこうとする意欲。それらを積み重ねて、日に日にレベルアップしていく子どもたちの姿を見ながら、こんなに手に取るように上達する姿を実感できることって、これまであったらうかと思いました。一人ひとりが全力を尽くして、集団としてのまとまりのある美しい表現を完成させていったのです。

本番では、小学校6年間の成長段階を実感しました。低学年は個々がもつきらきらしたかわいらしい姿が魅力ですが、学年が上がるにつれて演技の迫力や統制の取れた集団の美しさが見事に表現されていきます。そして、上級生になるにつれ、自分のことだけでなく、周囲のことや他の学年の頑張りにも目を向ける視野の広さを確認することもできました。東市ヶ尾小学校の子どもたちは、一生懸命に最後まであきらめずに取り組みました。アクシデントに動揺することなく、見事に走りぬいたり演じきったりする姿に、鳥肌が立ちました。大役を任されてもプレッシャーに負けず、けなげに頑張る姿に思わず声を出して応援しました。体調を崩し、人数が少なくなってしまう中でも工夫して取り組む姿には、胸が熱くなりました。参加できなかった子の思いを考えると我慢できずに涙がこぼれました。

騎馬戦の大將戦。決着がついた後、騎馬の上で大將同士の握手が交わされました。皆様、お気づきでしたか。全力を尽くし、その結果を受け入れ、互いをたたえ合うさわやかな姿に感動しました。これはあらかじめ決められていたのではなく、児童が自発的に行った行動とのこと。全力を尽くして清々しい気持ちになったのでしょうか。

まさに、その子一人ひとりにとっての「Best Challenge」、その状況の中での「Best Challenge」が繰り広げられたのです。見ごたえのある素晴らしい運動会になりました。

保護者の皆様や地域の皆様には深いご理解と温かいご支援をいただき、感謝申し上げます。

